

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

産業創造系、機械系、電気系が連携した創造的なものづくり教育により、地域社会のリーダーとなり得る人格を兼ね備えたものづくりのスペシャリストを育成する。

『地域の宝』となる！』というスローガンを掲げ、「社会人基礎力（前に踏み出す力）（考え抜く力）（チームで働く力）」の育成と、優れた工業技術や創造性を有する人材を育成する

- 1 人権尊重の理念を正しく理解し、豊かな人間性と基本的な生活習慣に加え、礼儀や挨拶などの社会性を身に付けた生徒を育成する学校
- 2 自ら課題を見つけ、他の人々と協働し、課題解決に主体的に取り組むことのできる、創造性豊かな製品開発のスペシャリストを育成する学校
- 3 生徒一人ひとりを大切にした教育を実践し、生徒、保護者が「入学してよかった」「学んでよかった」「卒業してよかった」と実感できる学校
- 4 地域の「ものづくり」の発信源となり、地域の住民、産業界から「地域の宝」として信頼される学校

2 中期的目標

1 基本的な生活習慣の育成と規範意識の醸成

- (1) 家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣を確立させ、社会性や規範意識をはぐくむ。また、生徒の抱えている課題を早期に発見し、中途退学を防止する。

ア、退学率を1.5%未満、遅刻件数を900件以下とし、令和6年度には遅刻件数を800件以下とする。

(退学率：R1 1.2%、R2 0.6%、R3 0.0%) (遅刻回数：R1 1195件、R2 985件 R3 1205件)

- (2) 部活動や学校行事等の活性化を図り、生徒の自尊感情と愛校心を育成する。

ア、クラブ加入率を45%以上。また、令和6年度には50%以上とする。(クラブ加入率：R1 39.5%、R2 51.7%、R3 55.2%)

2 「確かな学力」の育成

- (1) 教員の授業力を向上し、主体的・対話的な授業を展開することで、「確かな学力」を育てる。

ア、年2回の授業公開週間を設定する。授業実践の共有を推奨し、相互に好事例の共有及び改善点の把握に努め、授業改善を行う。

イ、授業理解度を75%以上。また、令和6年度までには、78%以上とする。

(授業理解度：[普通科]・[専門科] R1 76.9%・72.8%、R2 80.1%・67.9%、R3 84.3%・81.1%)

ウ、授業アンケート結果による総合（設問1～9）スコアを3.19以上とする。また、令和6年度までには3.20以上とする。

(授業アンケートスコア [12月]：R1 3.21、R2 3.19、R3 3.21)

- (2) 授業のICT化を推進し、全ての教員がICT（1人1台端末等）を活用した授業を実践できるようにする。

・授業において、少なくとも1回以上ICTを活用した実践を行う教員の割合を80%以上。また令和6年度までには100%とする。

3 生徒一人ひとりを大切にした教育の推進

- (1) 工科高校における新たな教育（PBL等）を探求し、スマート専門高校として、習得した最先端技術・技能を基礎とした、イノベーションを生み出す創造力を育成する。

ア、各種コンテスト、大会に積極的に参加をし、入賞等の成果を上げる。また、資格取得にも取り組み生徒の自尊心を育成する

- (2) 正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」・「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。

ア、応募前職場見学、大学、企業等見学への参加者を累積で450名以上とする。また、令和6年度までには500名以上とする。

(応募前職場見学、大学、企業等見学参加者累積：R1 510名、R2 392名、R3 148名)

イ、就職一次合格率を85%以上とする(H30 86.7%、R1 86.2%、R2 84.7%、R3 87.2%)

- (3) いじめを防止し、配慮が必要な生徒については状況に応じたきめ細やかな支援を行い、生徒に安全で安心な教育環境を提供する。

ア、入学満足度を75%以上、登校満足度を73%以上、令和6年度までには、入学満足度を77%以上、登校満足度を75%以上とする。

(入学満足度：R1 70.8%、R2 75.5%、R3 80.6%) (登校満足度：R1 64.7%、R2 73.4%、R3 79.6%)

イ、必要に応じて「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」を作成し、一人ひとりの個性に応じた指導を行う。

4 地域と連携した開かれた学校づくり

- (1) 学校説明会等広報活動を積極的に行い、学校の魅力の発信を効果的に実施する。

ア、オープンスクール等を年2回開催し、参加者を350名以上とする。

(オープンスクール参加者：R1 374名、R2 257名、R3 265名)

- (2) 「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や、行政組織等と連携してイベントに積極的に参加をする。活動を通して、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。

ア、企業等連携を15社以上

(企業等連携：R1 20社、R2 8社、R3 15社)

- (3) 校内のICT化を推進し、業務の効率化とともに会議時間の縮減を行い、教員の負担軽減を図る。また、Webを活用した情報発信をおこなう。

ア、学校Webページの更新を150回以上とし、令和6年度には、200回以上とする。

(学校Webページの更新：R1 198回、R2 155回、R3 200回)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【佐野工科満足度について】</p> <p>○生徒、保護者評価で大幅な上昇がみられ、教育活動全般で高い満足度を得ることができている。一方で、教員評価と乖離がみられ、一層の改善が期待できる。</p> <p>・《生徒評価》</p> <p>「この学校に入ってよかった」76.5% (R3 80.6% R2 75.5%)</p> <p>「学校へ行くのが楽しい」77.8% (R3 79.6% R2 73.4%)</p> <p>・《保護者評価》</p> <p>「佐野工科に行かせて良かった」97.8% (R3 96.6% R2 96.6%)</p>	<p>第1回 令和4年6月28日(火) 15:40～17:00</p> <p>・令和4年度学校経営計画及び学校評価</p> <p>・令和4年度 各分掌・系よりの目標設定</p> <p>・令和4年度 「地域産業連携重点型工科高校」としての取り組み(佐野工科地域コンソーシアム)</p> <p>○ICT機器、1人1台端末や、学習支援ツールの導入、メタバースなど今年度新たな取り組みがたくさんあるようだが、どのくらい活用できているのか。</p> <p>【Ans】タブレットが昨年度途中より導入され、生徒は自宅へ持ち帰っていたもの</p>

府立佐野工科高等学校

<p>「子どもは学校へ行くのを楽しみ」85.8% (R3 82.6% R2 81.5%)</p> <p>・《教員評価》</p> <p>「生徒や保護者の願いにこたえている」80.0% (R3 44.4% R2 66.7%)</p> <p>【学習指導について】</p> <p>○専門科目で上昇があり、ものづくりの取組みが成果を上げている。教員評価から、さらなる改善の意欲が感じられ、改善が期待できる。</p> <p>・《生徒評価》</p> <p>「普通科目の授業はわかりやすい」81.6% (R3 84.3% R2 80.1%)</p> <p>「専門科目の授業(座学)はわかりやすい」82.2% (R3 81.1% R2 67.9%)</p> <p>「実験・実習などの授業はよく学習できている」91.2% (R3 90.4% R2 82.2%)</p> <p>・《保護者評価》</p> <p>「子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている」73.1% (R3 73.6% R2 68.0%)</p> <p>・《教員評価》</p> <p>「到達度の低い生徒に対する学習指導」67.5% (R3 46.7% R2 46.7%)</p> <p>「学習意欲の高い生徒に対する学習指導」62.5% (R3 33.3% R2 50.0%)</p> <p>「本校の工業教育は現状のままでよい」50.0% (R3 38.7% R2 35.4%)</p> <p>【生徒指導等について】</p> <p>○教員の家運セイリングマインドを取り入れた指導項目が大幅に上昇している。多様な生徒への対応等、生徒指導・支援の在り方について考える必要がある。</p> <p>・《生徒評価》</p> <p>「いじめについて真剣に対応してくれる」84.2% (R3 84.8% R2 83.5%)</p> <p>「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」83.1% (R3 85.9% R2 82.6%)</p> <p>「先生の指導は納得できる」65.6% (R3 71.3% R2 57.1%)</p> <p>・《保護者評価》</p> <p>「いじめや差別を許さず、厳しく対応」95.5% (R3 89.8% R2 89.8%)</p> <p>「学校の生徒指導の方針に納得できる」88.1% (R3 86.8% R2 84.0%)</p> <p>「生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育成」96.3% (R3 87.7% R2 90.8%)</p> <p>・《教員評価》</p> <p>「いじめの際の体制が整っている」60.0% (R3 46.2% R2 64.6%)</p> <p>「組織的に対応できる体制」57.5% (R3 30.3% R2 70.8%)</p> <p>「家庭との密接な連携」80.0% (R3 59.3% R2 72.9%)</p> <p>「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」60.0% (R3 36.4% R2 43.8%)</p> <p>【進路指導等について】</p> <p>○進路について考える項目が上昇。進路の多様化を踏まえた授業選択について工夫する必要がある。</p> <p>・《生徒評価》</p> <p>「進路のことを考えてこの学校に入学」80.5% (R3 80.6% R2 81.7%)</p> <p>「卒業後、進学したい学校や就きたい職業がある」67.6% (R3 62.2% R2 65.5%)</p> <p>「将来の進路や生き方について考える機会がある」84.2% (R3 76.3% R2 78.4%)</p> <p>「進路希望に応じた授業が選択できる」86.6% (R3 89.6% R2 83.3%)</p> <p>・《保護者評価》</p> <p>「進路や職業について適切な指導」93.3% (R3 88.5% R2 94.1%)</p> <p>・《教員評価》</p> <p>「興味・関心・適正に応じて進路選択、きめ細かい指導」75.0% (R3 60.9% R2 62.5%)</p> <p>【考察と分析・方針】</p> <p><結果(一部抜粋)></p> <p>【生徒】</p> <p>評価が伸びている項目</p> <p>「実験・実習などの授業はよく学習できている」91.2%</p> <p>「進路希望に応じた授業が選択できる」86.6%</p> <p>「文化祭、体育大会、修学旅行は楽しく行えるよう工夫されている」86.0%</p> <p>「専門科目の授業(座学)はわかりやすい」82.2%</p> <p>「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる」70.6%</p> <p>要望・課題等</p> <p>「もっと”ものづくり”(作品製作の実習など)をしたい」84.2%</p> <p>「卒業後、進学したい学校や就きたい職業がある」67.6%</p> <p>「資格・検定の取得に向けて努力している」61.4%</p> <p>「家庭学習をしている」36.4%</p> <p>【保護者】</p> <p>とりわけ評価が高い項目</p> <p>「佐野工科には、他の学校にない特色がある」98.5%</p> <p>「子どもを佐野工科に行かせてよかったと思う」97.8%</p> <p>「学校は子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育てようとしている」96.3%</p>	<p>を、今年4月より各教室の充電保管庫に置ける環境になった。1年生も4月半ばのHRより活用できるようになっている。ある時間帯に教室棟のフロアを横切った際、そこに並ぶクラスのすべてが従来のノートではなく、タブレットを利用した資料配布や書き込み、調べ学習などを行っていた。校内努力で教員にもひとり一台使用できるようになったためでもある。すべての調査を行ったわけではないが、大幅に使用率が上がっていると感じる。生徒はかなり使い慣れている。メタバースというのはアプリでダウンロードするとバーチャルな空間、例えばコンサートホールなどを自由に使えるような設定もできる。ほかにはキューブで作る建築空間のボクセルアートや、リアルな状況に似せてインテリア、服、バッグなども作ることができる。新しい価値観を取り入れ、将来を見据えた取り組みである。現在、産業創造系の3DモデリングができるCADでweb上にアップロードしたものを閲覧するなどの実習で試している。学校HP校長ブログにVRで見られる作品をいくつか入れている。</p> <p>○工科高校の志望者が減ってきている問題について議論していきたい。大学も工科高校をまわって学生を集めようにもここ1年はかなり人数が減少しているのがわかる。他府県でも機械科が定員割れを起こしている。オープンスクールでは新たな形で期待したいところだ。さらに注視するような仕掛けとしてはどのような内容を考えているのか。</p> <p>【Ans】ここ数年のアンケート統計より、1年生でオープンスクールに参加した生徒がどれぐらいいるか調査したところ、約半数の参加があったことがわかっている。また、だれに勧められてきたかという質問では、保護者、学校の先生、学習塾の先生に勧められてきたという回答が多くあったことから、中学生を後押ししてくれる保護者や先生により多く、本校の様子を知ってもらうことが大切であると考えている。オープンスクールのみならず、保護者ものづくり教室でも、本校の生徒がものづくりを教えるような取り組みを通して学校の魅力を伝えていきたい。</p> <p>○技術面の教育や設備機材もそろえられている。その魅力を伝えるには中学生に興味を持たせる活動が必要で、例えば中学校でも科学部で企業の社員に本校へ来て頂き、エアコンの修理の方法の実習を行って文化祭でプレゼンするなどの取り組みを行ったが、そのようなことが有効かと思う。また、昨年、長南中学校との交流で革細工の製作を高校生が教える取り組みがあったのはすごく良かったと思う。そういった機会を増やしてほしい。もう一つ、将来について知る機会があればなおさら良い。就職、あるいは大学進学卒業後に活躍している人の話を聞けるなど機会があれば先を見通した目標もでき、魅力を感じられるのではないかと思う。</p> <p>○学校の良さをアピールするとしたらどのようなところがあるか。⇒普通科のカリキュラムにない専門高校での学び、進路に関する取り組みなど具体例として道筋を見せてもらえるところであると思う。高校生のうちから社会に出たらこのようなことができるということを具現化して教えてもらえるところが良い。⇒地域産業連携として昨年度は1月に地元開催のイベントを予定していたが、残念ながらコロナ蔓延防止のために実施できなかった。今年度は9月に実施予定で参加協力をいただく。安全・安心に留意し、展示、物販を中心に交流をする中で地域の子供も楽しく、喜んでもらえる企画になればと思う。新しい機械技術や設備を導入され、産業が変わる過渡期であるが、次の時代に対応したものづくり、バーチャルも含め、時代の波にうまく乗れるように、そして子どもの幸せを目標に今後頑張っていたきたい。</p> <p>【まとめ】</p> <p>○メタバースの取り組み、ICT技術の進歩した学習活動をぜひ進めていっていただきたい。</p> <p>○定員を満たすための方策について、中学生のみならず、保護者や学習塾の先生をターゲットに行う。</p> <p>○魅力を伝えるためのロールモデルとして、卒業生が中学校で高校のPRをする機会づくりなど、ぜひ実現できればと思う。</p> <p>○普通科高校と違う面を社会に向けてどんどんPRしていただきたい。</p> <p>○広報活動ではさまざまな手段で発信する必要があるが、ICT技術などまたお声掛けいただければ協力していきたい。</p> <p>第2回 令和4年11月17日(木) 15:30~16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度学校経営計画及び学校評価 スクールミッションについて 令和4年度 各分掌よりの目標 進捗状況 3系の課題研究の取り組み・工学基礎演習のアンケート結果と成績の関連性・EB3関連の取り組み 令和4年度 「地域連携等一覧表」(コンソーシアム) <p><中間考査をなくしてチャレンジ週間を作った件について></p> <p>○中間考査をなくしたというのは今年度からか。他の学校では行われているのか。</p> <p>【Ans】今年度からである。その期間はチャレンジ週間として、午前中授業の後は生徒の自由に学べる活動期間としている。他校では実施されていないようなので本校は先進的といえる。</p> <p>○どれぐらいメリットがあるのか。</p> <p>【Ans】観点別の評価として学力以外の2つの観点があるのに対し、学力チェックのための中間考査の期間で授業の時間を減らしているのと同じことである。中間考査をなくすことで授業回数切迫の縛りがなくなった。</p> <p>○生徒の活動はその分活発になったのか。取り組んだことの報告はあるのか。</p> <p>【Ans】生徒の自主性を重んじているので、特に報告はさせていない。今後魅力的</p>
--	--

府立佐野工科高等学校

<p>「学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している」 95.5%</p> <p>課題</p> <p>「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている」 73.1%</p> <p>「子どもの成績についてよく知っている」 80.6%</p> <p>「子どもは、家庭でよく勉強している」 38.1%</p> <p>【教員】</p> <p>課題</p> <p>資格・検定の取得に力を入れるべきだと思う。72.5%</p> <p>生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。57.5%</p> <p>人権教育の課題や指導方法について教職員が話し合っている。32.5%</p> <p><分析></p> <p>これまでの取組みが評価され、総じて生徒、保護者の評価は高い状況にある。気になる項目を取り出して分析を行った。</p> <p>今後の方向性について</p> <p>R5でとりわけ力を入れる2項目</p> <p>①資格取得の拡充・・・(検討中：フォークリフト、玉掛け、準中型運転免許等)</p> <p>②職場・工場見学の機会の増加</p> <p>一層充実を図る項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの機会増加 ・実験・実習の一層の充実 ・家庭学習の推進 ・オンラン学習ツールの活用 ・生活指導から生徒支援体制へ ・教育相談系の充実（多様化する問題行動への対応） ・家庭での対話の促進 <p>(資格取得や職場見学等、対話が生まれる内容を増加)</p>	<p>なモデルを構築していく。</p> <p>○社会の変化に合わせてこれらの改革にどのような成果があるのか検証できるとよい。</p> <p>○カリキュラム的には考査範囲が広がるなど期末考査の内容に変化があったのか。</p> <p>【Ans】例えば考査1では4月から7月までのすべての範囲でなくてよい。日々の振り返りや小テストを含めて評価が可能である。それも毎時間か単元毎か教科特性によって判断している。</p> <p>○3年生の就職選考など現在は点数の順位で決定しているが、今後、観点別の総合評価では実際難しくなってくるのではないかと。</p> <p>【Ans】学力以外のところを見ていく必要性があり、検討中である。</p> <p>○ひと昔前にはゆとり教育の弊害など問題視されたことがあったが、考査があるから頑張るといふこともあるのではないかと。</p> <p>【Ans】確かに、全部なくすのはよくないが、学期ごとの3回のテストでよいと判断している。</p> <p><学校広報活動や取組みについてのアンケート結果について></p> <p>○9月25日実施の泉佐野商工まつりでは5000人もの来場客があった。屋内作品展示や広場での体験販売などに参加いただき、お礼を申し上げたい。</p> <p>玄関のポスターロボット相撲なども頑張っておられる様子。生徒のアンケートについてはやる気の見えてくるものである。</p> <p>【Ans】ロボット相撲は全国大会に出場する。またこれについてはテレビの取材を受け11月25日6:30より生放送される。アンケートのサンプル数は63で15人から5人のばらつきがある。</p> <p><スクールミッションについての意見></p> <p>○学校としての一番だいじなものは何かというところを謳っているのが良いと思う。3系の取組みについてもうまくまとめられている。</p> <p>○国際競争力が低迷する中、創意工夫、創造性を育てる教育をめざしているところは良いと思う。</p> <p>第3回 令和5年2月16日(木) 15:30～16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度「学校経営計画及び学校評価」の報告 ・令和4年度「学校経営計画及び学校評価」の説明 ・令和4年度 各分掌・各科系の報告 <p>3年「課題研究」共通テーマ概要・工学基礎演習のアンケート結果と成績の関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 「地域連携等一覧表」(コンソーシアム)の報告 <p><各分掌・各系の報告について></p> <p>○教務部の説明にあった各教科3観点評価のルーブリック作成は今年度から始めているのか。それについては学習者がどこまで理解したかが重要なので具体的にどのようにフィードバックしているのか。</p> <p>【Ans】第1学年で行っている。ルーブリック評価基準は最初に提示するものすべてではないが結果を返している教科はある。</p> <p>○生徒自身ができるだけの段階にいるのかわかるようにできるだけ返してあげたほうが良い。</p> <p>○資格取得の努力率について、もっとこういう資格取得ができるという提示方法があれば向上するのではないかと。</p> <p>【Ans】生徒自身がまだやり足りないという結果でもある。教員側の努力も必要であると感ずる。</p> <p>○資格取得やコンテスト取組みのやる気を出させるために努力をされていると感ずる。日本政策金融公庫の高校生ビジネスプラングランプリに今年度初めて泉州のものづくりを応募していただいた。支店長からのお礼があった。駅下がりの町おこしとしてボードゲームカフェを作るといふもの。また例年実施の販売・ワークショップ地域連携について今年度11月25日と26日を予定しているのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>○チャレンジ週間の取組みについて</p> <p>【Ans】年間を通して中間テストの時期約10日間授業短縮し、午後より実施。今年初めての取組みである。もっと楽しいことができる機会があればと考え、来年度は地域の自動車教習所と連携した企画、デジタルイラスト作成などは引き続き行いたい。</p> <p>○コロナ禍の中でもコンテスト入賞などができたことは良かった。オープンスクールも説明会形式から実習体験へ変更実施できたことで学校の良さが伝わったと思う。他校とのPTA関連情報、1年間企業の中でどれだけ役に立つか実感できるインターンシップ実施の工科高校がある。このように将来的なビジョンをもって現場を学ぶ機会があればいいと思った。</p> <p>○それはまさにキャリア教育であると感ずる。大阪府教育庁から系を越えて実施する課題研究について3つの工科高校が先行実施しているが、そのような共通テーマはどこかで報告をするのか。</p> <p>【Ans】出すつもりであったが、今年度は出せていない。本校では昨年度から試験的に実施、系をまたいでテーマは教員間のコミュニケーションも必要であった。来年度テーマは変わっても引き続き取組み、報告できるように検証する。</p>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 育成と規範意識の醸成	<p>(1) 家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣を確立させ、社会性や規範意識をはぐくむ。また、抱えている課題を早期に発見し、中途退学を防止する。</p> <p>(2) 部活動や学校行事等の活性化を図り、生徒の自尊感情と愛校心を育成する。</p>	<p>1)・日常的に遅刻、頭髪、服装等についての指導を行う。また、定期的に全校的な指導を実施し、規範意識の向上を図る。</p> <p>・懇談週間を設定し、家庭と生徒情報を密に交換し、課題の早期発見に努める。</p> <p>2)・新入生および、中学生に対してクラブ体験週間を実施し、入部を促進する。</p>	<p>1)・退学率 1.5%未満 [1.1%] ・遅刻数 900 件以下 [1205 件] ・懲戒件数 30 件以下 [5 件] ・生徒 (社会のルールや命の大切さを学ぶ) 80%以上 [85.9%] 2)・クラブ加入率 45%以上 [55.2%] ・生徒行事満足度 75%以上 [82.4%]</p>	<p>1)・退学率 2.0%(△) ・遅刻数 1962 件(△) ・懲戒件数 8 件(◎) ・生徒社会やルール 83.1%(○) 2)・クラブ加入率 52.9%(○) ・生徒行事満足度 86.0%(○)</p>
2 「確かな学力」の育成	<p>(1) 教員の授業力を向上し、主体的・対話的な授業を展開することで、「確かな学力」を育てる。</p>	<p>1)・授業アンケート、外部テストを活用し、各教科や、個人の課題を明確にし、改善を行う。</p> <p>・少人数授業を行う。適切に習熟度別授業を実践し、生徒の課題に対応する。(国語、数学、英語及び家庭)</p> <p>・授業公開週間や研究授業を実施し、好事例の共有を図る。</p> <p>・職員会議、研修等で、授業・評価の改善について周知し共有をはかる。</p> <p>・授業における ICT 機器の活用を推進し、授業の改善を図る。</p>	<p>1)・授業理解度 75%以上 [普通科 84.3%] [専門(座学) 81.1%] [実験・実習 90.4%] ・授業アンケートスコア 3.19 以上 [7月 3.17]・[12月 3.21] ・授業公開週間 2 回以上実施 [2 回] ・授業・評価改善の周知機会 3 回以上 ・授業での ICT の活用 80%以上</p>	<p>1)・授業理解度 [普通科]81.6%(○) [専門(座学)]82.2%(○) [実験実習]91.2%(○) ・授業アンケートスコア(◎) [7月 3.22] [12月 3.25] ・授業公開 2 回(○) ・授業・評価改善の周知機会 4 回(○) ・授業等での ICT の活用 100%(◎)</p>
3 生徒一人ひとりを大切にした教育の推進	<p>(1) 工科高校における新たな教育を探求し、習得した技術・技能を基礎とした、イノベーションを生み出す創造力を育成する。</p> <p>(2) 正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」・「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。</p> <p>(3) いじめを防止し、配慮が必要な生徒については状況に応じたきめ細やかな支援を行い、生徒に安全で安心な教育環境を提供する。</p>	<p>1)・ものづくりに関する競技、コンテスト等に積極的に応募、出場し、成果を挙げて生徒の自尊心の育成を図る。</p> <p>・各種資格検定に積極的に取り組む。</p> <p>2)・企業見学など、仕事に触れる機会を多く設定し、正しい勤労観・職業観の育成を図る。</p> <p>・進路講話や職業に関する探究活動を推奨し、主体的にキャリアの育成に取り組む態度を育成する。</p> <p>3)・「いじめは絶対に許さない」の信念のもと、厳しさの中にも、カウンセリングマインドを持って生徒指導を行う。</p> <p>・年 2 回のアンケートを実施して、問題の未然防止に努める。</p> <p>・学習支援や相談機能を充実させ、中途退学者の防止を図る。</p>	<p>1)・コンテスト応募、近畿大会・全国大会での入賞 [ロボット相撲他] ・資格取得者数 600 以上 [403 名] 2)・応募前職場見学参加者 150 名以上 [127 名] ・就職一次合格率 85%以上 [87.2%] 3)・いじめ重大事象 0 件 ・生徒入学満足度 75%以上 [80.6%] ・生徒登校満足度 73%以上 [79.6%] ・生徒いじめ満足度 80%以上 [84.8%] ・生徒指導納得度 65%以上 [71.3%] ・生徒相談満足度 60%以上 [68.0%] ・保護者入学満足度 95%以上 [96.6%] ・保護者登校満足度 75%以上 [82.6%]</p>	<p>1)・近畿大会・全国大会入賞(◎) ・資格取得者数 210 名(△) 2)・応募前職場見学参加者 172 名(○) ・就職一次合格率 88.7%(◎) 3)・いじめ重大事象 0 件(○) ・生徒入学満足度 76.5%(○) ・生徒登校満足度 77.8%(○) ・生徒いじめ満足度 84.2%(○) ・生徒指導納得度 65.6%(○) ・生徒相談満足度 70.6%(○) ・保護者入学満足度 97.8%(○) ・保護者登校満足度 85.8%(○)</p>
4 地域と連携した開かれた学校づくり	<p>(1) 学校説明会等広報活動を積極的にを行い、学校の魅力の発信を効果的に実施する。</p> <p>(2) 「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や、行政組織等と連携してイベントに積極的に参加をする。活動を通して、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>(3) 校内の ICT 化を推進し、業務の効率化とともに会議時間の削減を行い、教員の負担軽減を図る。また、Web を活用した情報発信をおこなう。</p>	<p>1)・中学生及びその保護者のニーズに沿った「オープンスクール」等を年 2 回実施する。</p> <p>2)・地域企業、事業所等と連携し、ものづくりにおける技術力の向上を図る。</p> <p>・行政機関や民間団体等と連携し、様々なイベントに参加して、ものづくりへの関心を高め、生徒の発信力を高める。</p> <p>・地域とも連携し、ボランティア活動や清掃活動を行う。</p> <p>3)・積極的に学校 Web ページを活用した学校 PR を行う。</p> <p>・校内の ICT 環境を整備し、情報共有の効率化を図り、教員の事務負担を軽減する。</p> <p>・会議時間の短縮を図り、教職員の負担を軽減し、働き方改革を行う。</p>	<p>1)・オープンスクール参加者 350 名 [265 名] 2)・企業等連携 15 社以上 [15 社] ・奉仕的活動取り組み件数 3 件以上 [1 件] 3)・学校 Web ページの更新 150 回以上 [200 回] ・職員会議実施時間 1 時間以内 50%以上 [50%] (R3 会議回数を 50%減)</p>	<p>1)・オープンスクール参加者 357 名、その他説明会開催 3 回(○) 2)・企業等連携 24 社(○) ・奉仕的活動 2 件(○) 3)・Web 等の更新 280 回(◎) ・職員会議時間 1 時間以内 90%(◎)</p>